

### 1. ゼミのねらい・概要

ゼミのねらいは、「企業研究」である。現在、活躍する企業の経営状況や将来性について、投資家やアナリストの立場に立って分析する。具体的には、メーカー、商社、金融、ホテル、レジャーといった業界から代表的な企業を1社選び出し、様々な角度から分析・研究する。ゼミ担当者は生命保険会社出身、証券アナリスト資格保有者。

### 2. 授業の進め方

基本的に、ゼミ担当者からの分析技術についての講義→公表資料に基づく分析→各企業への質問事項の提示→回答を踏まえた分析レポートの完成という流れでゼミを進める。ゼミのメンバーを担当ごとに5班に分け、講義以外はすべてゼミ生中心で進めてもらう。また、各企業への質問事項は、対象企業の経営層に直接提示できるように取り計らう。

### 3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス、自己紹介など	1. 前期の復習と後期の学修内容のガイダンス
2. 講義「企業分析の基礎①」(経営学全般)	2. 講義「企業分析(応用編)①」(企業業績と株価)
3. 講義「企業分析の基礎②」(経営組織・経営戦略)	3. 講義「企業分析(応用編)②」(企業年金制度)
4. 講義「企業分析の基礎③」(財務諸表分析)	4. 講義「企業分析(応用編)③」(商品・ブランド戦略)
5. 講義「企業分析の基礎④」(レポート・ガバナンス、ESG)	5. 各企業の回答の確認(新日鐵住金株)
6. 個別企業についての研究(新日鐵住金株)	6. 各企業の回答の確認(三菱商事株)
7. 個別企業についての研究(三菱商事株)	7. 各企業の回答の確認(住友生命保険相互会社(相))
8. 個別企業についての研究(住友生命保険相互会社(相))	8. 各企業の回答の確認(株三井不動産ホテルマネジメント)
9. 個別企業についての研究(株三井不動産ホテルマネジメント)	9. 各企業の回答の確認(株オリエンタルランド)
10. 個別企業についての研究(株オリエンタルランド)	10. 相互討議とまとめ(新日鐵住金株)
11. 質問事項の発表と選択(新日鐵住金株)	11. 相互討議とまとめ(三菱商事株)
12. 質問事項の発表と選択(三菱商事株)	12. 相互討議とまとめ(住友生命保険相互会社(相))
13. 質問事項の発表と選択(住友生命保険相互会社(相))	13. 相互討議とまとめ(株三井不動産ホテルマネジメント)
14. 質問事項の発表と選択(株三井不動産ホテルマネジメント)	14. 相互討議とまとめ(株オリエンタルランド)
15. 質問事項の発表と選択(株オリエンタルランド)	15. 全体の振り返りとまとめ、研究レポートの完成

### 4. 到達目標

証券アナリスト的な視点に立って、担当業界や企業について、簡単なレポートが書けるようにする。

### 5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

- ①ゼミのメンバーは担当業界・企業について、下記参考文献のほか、HP等から積極的に情報収集する。
- ②発表内容や発表方法は各班に任せるが、ゼミ全体で議論が深まるように工夫すること。

### 6. 成績評価の方法・基準

担当業界・企業についての発表内容や発表方法、ゼミでの討論への参加状況、最終的な分析レポートなどを総合的に判断して、評価する。

### 7. テキスト・参考文献

前期：入山章栄『ビジネススクールでは学べない 世界最先端の経営学』日経BP社(2015)  
 後期：西山茂『企業分析シナリオ(BEST SOLUTION)第2版』東洋経済新報社(2006)  
 その他参考文献として、研究対象企業のディスクロージャー資料やPR資料を、適宜配布する。

### 8. 受講上の留意事項

担当する業界や企業だけでなく、様々な業界や企業の動向、さらには経済環境の変化に関心を持ってもらいたい。  
 なお、研究対象の業界・企業ならびにテキストは、変更がありうる。